

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

1月

漬物製造 [県下全域] 価格の安い製品だけが売れている。

味噌製造 [県下全域] 米のトレーサビリティ制度(米の取引等の記録の作成・保存)が今年10月から施行される。

製材 [県下全域] 新築需要は少なく、リフォームが中心で、単価の変動もなく、取扱量も減少している。

製材 [木更津] 人件費、設備の操業度等の圧縮を図るために、輸入・原木産製品を加工せず、一部原木のまま販売している。

印刷 [県下全域] 今月の官公需は年度末に向けて前月より動き出して売上も若干上向いた様だ。民需は一部輸出産業関連で僅かに改善した様ですが、デフレ宣言をした内需関連はマイナス続きだ。

生コン製造 [県下全域] 公共事業の減少、民間投資の抑制等、当面環境が厳しい状況が統

く見通しである。

電気鍍金 [県下全域] 1月は休日が多く、また年明けで発注先の生産活動も進んでいない。2月はこれまで以上に生産額が減少するのではないかと不安だ。

鉄工 [千葉] 低操業が長期に及んでおり、中小企業メーカーにおいては、依然として厳しい状況が続いている。

機械部品製造 [野田] 2月以降の受注内示が減少、今年も厳しい状況がうかがえる。

採石 [県下全域] 羽田D滑走路工事は、築堤工事が終わり岩スリの需要が一段落し、現在は埋立てに入り、山砂の利用が増えているが液状化対策や滑走路の基盤材の一部として岩スリの需要が来年2月まで見込まれる。

土砂採取 [県下全域] 羽田D滑走路建設工事に伴う、一部地域(千葉県中部山砂事業組合、かずさ山砂採取協同組合、千葉土砂採取業協同組合)の担当地区(市原、袖ヶ浦、君津、木更津、富津)から山砂が搬入され時限的にでも明るい兆しは見えている。

総合卸売 [千葉県・東京都] 価格引下げ要請が依然厳しく、収益性低下、売上額減少のため、人員減少、パート職員採用により調整しているところもある。

食肉卸売 [千葉市他] 消費の低迷で価格が下がり、生産者は悲鳴を上げている。

建築材料卸売 [県下全域] 悪化の一端。需要払底、先行き不透明。輸出関連他産業は米中に活路を求められるが、建設及びセメント業は内需が全てのためますます水河の水の厚さが増すばかり。

自動車解体 [県下全域] 金属スクラップ価格がやや上昇してきている。

小売 [相] 正月の人は例年並みであったが、売上に結びつかず、前年実績をクリアできなかった。

電気機器小売 [県下全域] 今年に入って、景況感は悪化し続けている。誰もが悪化を言うのは今までに無いこと。エコ家電の有

らこの状況は恐ろしい。

小売 [大網白里] 景況は下げ止まりなのか分からないうが、販売価格の下落傾向は続いている。

中古車販売 [県下全域] 直販、低調な滑りだし(さらに強まる環境悪化)ユーザーの関心に見るべきものが乏しく、天候不順による影響など、手ごたえ不足を直販にウエイトをかける向きは、強調している。1月下旬以降の成り行きに関心は集中している。

小売 [東金] 年末よりバーゲンを実施したところが多く、中旬より厳しい状況にあった。消費者が家計防衛に入り価格競争が一段と厳しさを増してきている。

小売 [野田] 売上は引続き減少傾向にある。減少幅は縮小しているが、減少が止まらない。個人消費の低迷で景気回復の出口がみえない。

自動車・自転車小売 [県下全域] 今年に入って売上が鈍くなってきたようです。

小売・サービス [相] 1月に入って、益々冷え込みを感じている。

建設揚重 [県下全域] 小型は若干稼働しているが、他方、稼働率50%以下。厳しい状況が続いている。

遊覧船 [鴨川] アクアライン料金値下げ効果は9月頃までは順調に乗船客が増えていたが(前年比5%)、10月以降は景気の低迷がとりざたされたせいか、落込んできている。

一般廃棄物処理 [千葉] 前月比は落込んだものの、前年同月比はいい結果がでた。

学習塾 [県下全域] 中学3年生や小学6年生で合格した者が、退塾するという事態も散見される。

土木建築サービス [県下全域] 政府の景気対策の動向により、一層の悪化が懸念される。

建設 [県下全域] 前年同期より増加したものの、落札価格は低下している。

貨物運送 [野田] 物流量の波が大きく不安が募っている。今の時期が一番不景気感の強い時期だと思う。年度末に物流量が増加することを望んでいる。